

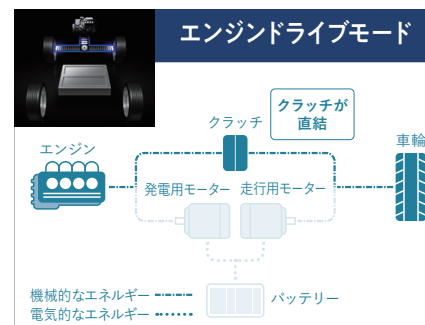
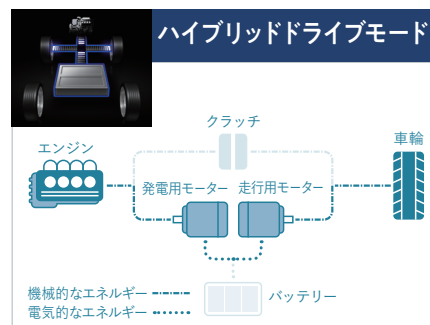
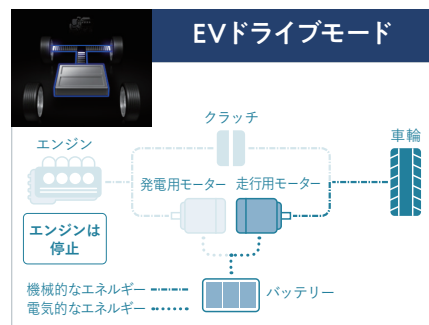


ドライブモード

切り替える、協調する。プラグインハイブリッドの走りを変える 3つのドライブモード。

EV走行を中心にプラグインハイブリッドの走りを最適制御

クラリティ PHEVは、EV走行を中心とした3つのドライブモードを搭載。
バッテリーの充電状態や走りの状況に応じて、つねに最適な走りを自動的に選択します。



■イラストはイメージ。

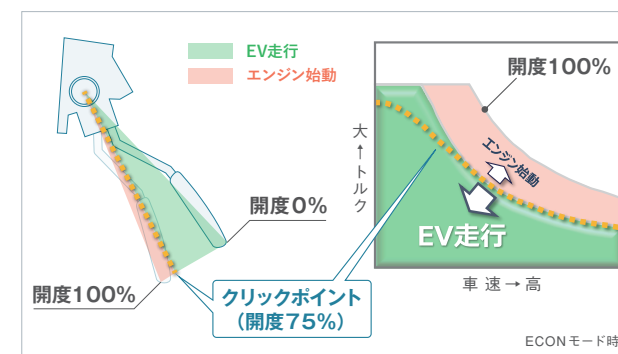
バッテリーに蓄えられた電気エネルギーによって走行用モーターを駆動し、ガソリンを使わずに走行。クラリティ PHEVは、外部からの充電により、従来のハイブリッド車に対しEVドライブモード領域を大幅に拡大しています。

高負荷領域やバッテリー残量が少ない場合は、エンジンの高効率領域を使ってジェネレーター（発電用モーター）で発電し、その電力で走行用モーターを駆動して走行します。エンジンの高効率領域を使うため低燃費で力強い走りが可能です。また、バッテリー残量に応じて走行用モーターを駆動してアシストしたり、ジェネレーターにより発電した電力の余裕分をバッテリーに充電したりします。

バッテリー残量が少ない場合の高速クルージングなどでは、エンジン直結クラッチを締結して、エンジンで直接駆動します。高効率なエンジンの運転と高い伝達効率を両立した状態での走行が可能です。

ペダルクリック機構

アクセルペダルを一定量踏み込んだ位置に、スイッチを押すようなクリック感（反力）が生じるポイントを設定。ECONモード時にペダルの踏み込みをその手前までにすると、エンジンの始動を抑えてEV走行をより長くキープし、クラリティ PHEVのEV走行能力を限界まで引き出します。



減速セレクター

ステアリングに設けた減速セレクターの操作による、減速度のコントロールが可能。左側の「-」セレクターを引くごとに減速度が強まり、右側の「+」セレクターを引くごとに減速度が弱まります。減速度の強さは4段階の設定です。

